

平成 30 年 4 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のピックアップ》

- 性的接触による A 型肝炎の報告が多い状態が続いています。
- 第 15 週にてインフルエンザの報告数が定点あたり 1.00 を下回り、流行は終息しました。

全数把握の対象

【4 月期に報告された全数把握疾患】

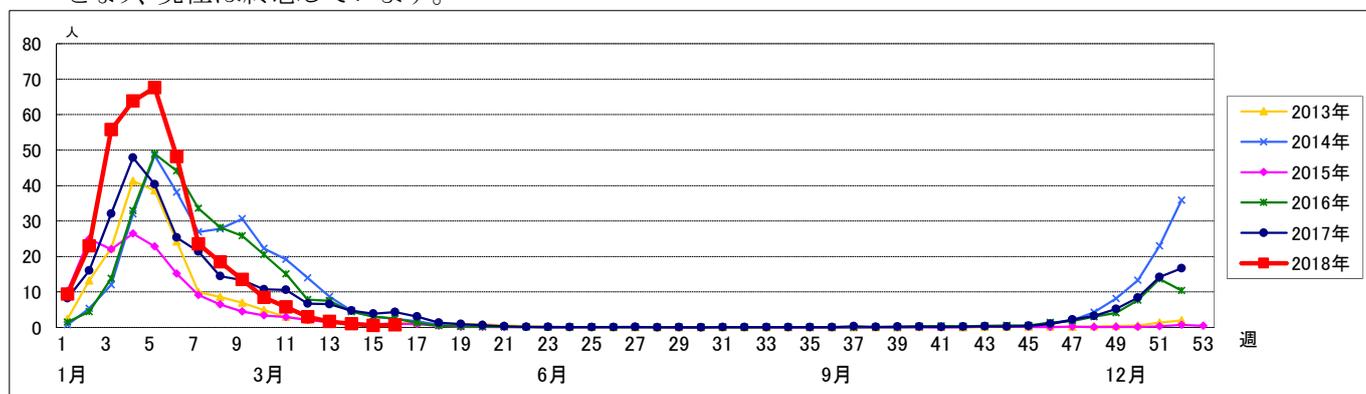
細菌性赤痢	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	5 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症含む)	5 件
E 型肝炎	1 件	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 件
A 型肝炎	5 件	侵襲性肺炎球菌感染症	14 件
デング熱	1 件	水痘(入院例に限る)	2 件
レジオネラ症	4 件	梅毒	18 件
アメーバ赤痢	4 件	播種性クリプトコックス症	1 件
ウイルス性肝炎(E 型肝炎及び A 型肝炎を除く)	1 件	破傷風	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4 件	百日咳	5 件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件		

- 1 細菌性赤痢:無症状病原体保有者の報告が 1 件ありました。バングラデシュでの経口感染と推定されます。
- 2 腸管出血性大腸菌感染症:O157 の報告が 3 件、O111 の無症状病原体保有者の報告が 1 件、O104 の無症状病原体保有者の報告が 1 件ありました。O111 はフィリピンでの経口感染と推定されます。
- 3 E 型肝炎:国内での経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 4 A 型肝炎:同性間の性的接触による報告が 4 件、経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 5 デング熱:フィリピンでの蚊からの感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が 4 件あり、感染経路等不明です。
- 7 アメーバ赤痢:インドでの経口感染、インドネシアでの経口感染、国内での詳細不明の性的接触による感染、感染経路等不明の報告がそれぞれ 1 件ずつありました。いずれも腸管アメーバ症でした。
- 8 ウイルス性肝炎(E 型肝炎及び A 型肝炎を除く):タイでの異性間性的接触と推定される B 型肝炎の報告が 1 件ありました。
- 9 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:4 件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病:家族性 CJD の報告が 1 件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: A 群と G 群の報告が 1 件ずつあり、感染経路等不明でした。
- 12 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む):AIDS の報告が 1 件、無症状病原体保有者の報告が 2 件、その他の報告が 2 件あり、いずれも男性でした。4 件は同性間性的接触で、1 件は感染経路等不明でした。
- 13 侵襲性髄膜炎菌感染症:50 歳代の報告が 1 件あり、感染経路等不明でした。
- 14 侵襲性肺炎球菌感染症:幼児で 2 件(ワクチン 4 回接種)、30 歳代および 40 歳代が 3 件(ワクチン接種歴なし 2 件、不明 1 件)、60 歳以上で 9 件(ワクチン接種歴なし 3 件、不明 6 件)の報告がありました。
- 15 水痘(入院例に限る):80 歳以上の 2 件の報告があり、いずれも臨床診断例です。
- 16 梅毒:18 件の報告(無症状病原体保有者 6 件、早期顕症梅毒 I 期 8 件、早期顕症梅毒 II 期 3 件、晩期顕症梅毒 1 件)がありました。12 件は国内での感染で、1 件はインドネシア、5 件は感染地域不明です。男性 14 件、女性 4 件でした。感染経路は、異性間の性的接触が 8 件、同性間の性的接触が 1 件、詳細不詳の性的接触が 4 件、感染経路等不明が 5 件です。
- 17 播種性クリプトコックス症:80 歳代の免疫不全によると推定される報告が 1 件ありました。
- 18 破傷風:創傷感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 19 百日咳:幼児の報告が 4 件(ワクチン接種歴あり 3 件、ワクチン接種歴不明 1 件)、40 歳代の報告が 1 件(ワクチン接種歴不明)ありました。

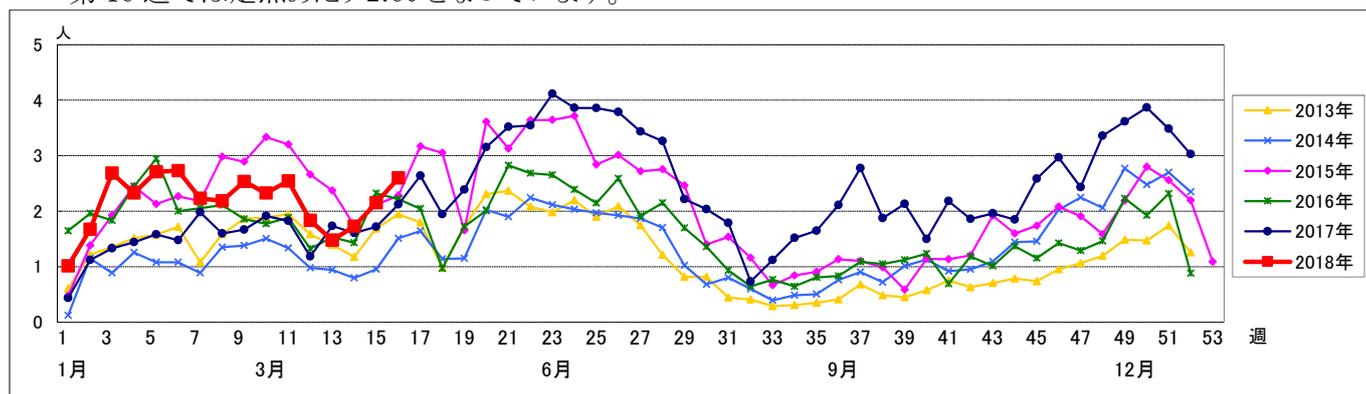
## 定点把握の対象

平成 30 年 週一月日対照表		
第11週	3月12日	～ 18日
第12週	19日	～ 25日
第13週	26日	～ 4月1日
第14週	4月2日	～ 8日
第15週	9日	～ 15日
第16週	16日	～ 22日

- 1 インフルエンザ: 2017年第46週で1.01にて流行開始し、第51週で定点あたり14.19にて流行注意報発令基準値(10.00)を超え、2018年第3週で55.76となり、警報発令基準値(30.00)を超えました。第5週の67.58をピークとして漸減し、第10週では8.45となり、警報解除基準値(10.00)を下回りました。第15週にて0.55となり、現在は終息しています。



- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第16週では定点あたり2.60となっています。



## 3 性感染症:3月

性器クラミジア感染症	男性:23件	女性:27件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:4件	女性:9件
尖圭コンジローマ	男性:8件	女性:2件	淋菌感染症	男性:10件	女性:1件

## 4 基幹定点週報:

	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	<b>0.67</b>	0.00	0.00	0.00	<b>0.50</b>	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	<b>0.50</b>	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	<b>1.00</b>	<b>0.33</b>	<b>0.50</b>	<b>0.50</b>	<b>0.50</b>	<b>1.00</b>

## 5 基幹定点月報:3月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>